

■開催概要

平成27年10月に策定した「五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の推進にあたり、各取り組みの検証を行うことを目的として開催しました。

意見交換では、4つの基本目標ごとに、数値目標・重要業績評価指標（KPI）達成に向けた取り組みの方向性や今後の展開、施策・事業の改善点などについて、ご意見・ご提案をいただきました。

日時	平成28年10月19日（水）午後2時～4時
会場	五泉市役所4F 401会議室
参加委員	9名（産学官金労言の各分野計19名構成）
内容	1. 開会 2. あいさつ 3. 説明 （1）総合戦略の検証方法について 4. 意見交換 「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」 （1）基本目標Ⅰ 未来世代を守り育てる （2）基本目標Ⅱ 産業の活力を高める （3）基本目標Ⅲ 五泉の魅力をつなげる （4）基本目標Ⅳ 確かな暮らしを充たす （5）総合戦略全体について 5. 閉会

■実施状況



市民検討委員会の様子

■意見交換「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」

基本目標	意見・質問
Ⅰ 未来世代を守り育てる	<p>【基本方針1】結婚・出産・子育てまでの切れ目のない支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ■婚活事業においては、イベント参加者が固定され、会としてのパフォーマンスやニーズが落ちてくるといった懸念がある。新しい参加者の流れをつくること、企画の内容や発信の方法について検討する必要がある。 ■婚活イベントでの対象者は市内の男性・市外の女性だけでなく、市内の女性・市外の男性ということでも良いのでは？ ■婚活イベントに参加したくてもできない引っ込み思案な人のために、もっとより綿密にマッチングできるような体制があるとよい。また、縁結び相談員に、30歳代などの相談者と年齢が近くて心が分かるような人がいるとよい。 ■五泉市の病院にぜひ産科を設置してほしい。 ■男性の育児・家事参加は重要。親支援講座事業では、男性・パパに向けたセミナーも並行して実施すると良いと思う。 <p>【基本方針2】教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ■数値目標と各事業やKPIがリンクしていない感じがする。また、KPIが「わかる」とか「感じる」など、非常に抽象的な評価になっているので、もっと具体的な指標にした方がよい。 ■バイリンガル育成事業について、小学生向けにイングリッシュキャンプのような事業を行ったり、英語を好きになってもらえるように、遊びながら、または楽しみながらできる事業を行ってはどうか？ ■寺子屋事業について、非常にいい事業だと思うが、小学生だけではなく中学生にも拡大はできないか？
Ⅱ 産業の活力を高める	<p>【基本方針1】五泉ブランドの競争力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■新規就農者について、若い方など、長く農業をできる方をコンスタントに確保できると良いと思う。 ■エゴマはある程度機械化すると、たくさんの土地で効率的に栽培できるので、産地としても形成が早い。
Ⅲ 五泉の魅力をつなげる	<p>【基本方針1】地域の特性を活かした交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■イベント来場者数について、26年度から27年度で4万人くらい落ちているが、原因は把握しているのか。⇒花シリーズなどで、天候の影響によるものであると思われる。 ■合宿誘致促進事業について、東京オリンピック・パラリンピックの関係で合宿誘致できれば、夢は広がると思う。 ■フェイスブックについて、ページの名称は「五泉市役所」ではなく「五泉市」でいいのではないかと。市役所のことに限定せず、五泉市の場所や魅力などいろいろな記事を掲載できれば、もっと五泉市を発信でき、PR効果も上がると思う。 <p>【基本方針2】地域の魅力を活かした移住の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■五泉市では空き家が非常に増えており、景観や衛生面、また防犯上などの問題が起こっている。早々に空き家バンクを創設してほしい。 ■地域おこし協力隊について、市の仕事だけでなく、ニット関係などいろいろなところで、家族をもっている世帯に対して募集をすることで、人口も増えていくのではないかと。思う。
Ⅳ 確かな暮らしを充たす	<p>【基本方針1】未来へつながる安全・安心なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ■災害があれば備蓄や地域での助け合いが必要だと思ったり、健康であれば病気になって初めて健康の大切さが分かったりする。基本目標Ⅳに関しては、自分のこととして実感してもらい、そしてその必要性を理解してもらおうということが必要なのではないかと思う。